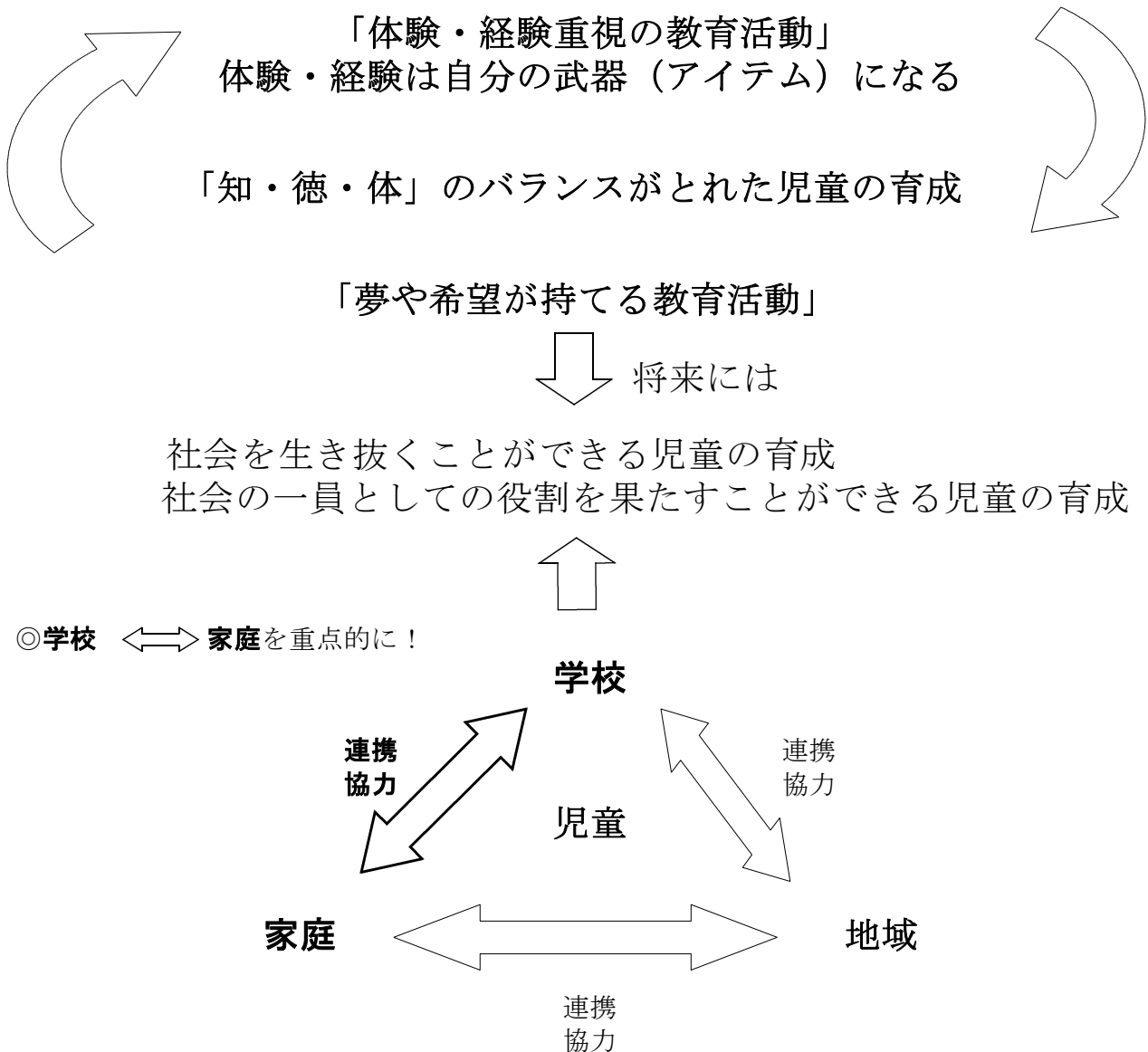


1 基本方針



2 具体的内容

◎「子どもも教職員も楽しいと思える学校」
(教師の姿が、子どもを育てる)

(1) 「教師が楽しい学校」 → 「子どもが楽しい学校」
↓ 「教師の姿が子どもを育てる」 ↓

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ① やりがいを見出す。 | ① 目標を持って生活することができる。 |
| ② 教職員間で連携・協力をする。 | ② 助け合い、協力することができる。 |
| ③ ポジティブにとらえる。 | ③ 明るく、元気に生活することができる。 |
| ④ 経験は武器なる。 | ④ 体験・経験が考えを深めることができる。 |
| ⑤ 課題・問題の解決を設定する。 | ⑤ 自ら解決する力が身につけることができる。 |
| ⑥ 具体策を考え、実践する。 | ⑥ よりよい方法を考えることができる。 |
| ⑦ 自ら考え、行動する。 | ⑦ 問題解決能力が身につけることができる。 |
| ⑧ 報・連・相を徹底する。 | ⑧ 先生や友だちと話すことができる。 |
| ⑨ 自分がやるべきことを明確にする | ⑨ 何をすべきが分かるようになる。 |
| ⑩ 不祥事を起こさない。 | ⑩ 善悪の判断ができるようになる。 |

(2) 知

- 「自分の考えを持ち、その考えを相手に伝え、相手の考えを認め、そして生かす」
 - 「めあてを持って学習させる」
 - 「授業が分かる・学習した内容が分かるようにする」
 - 「子ども・教師が自分の体験・経験を生かす」
 - 「子ども・教師が自分の得た情報を生かす」
- 「少人数の良さを理解し、生かす」
「ABCプラン」「学校カルテ」
を活用する。

(3) 徳

- 「あいさつができる子」
- 「学年に卒を越えて関わり合えるようにする」
- 「相手の良さを認められる子を育てる」
- 「失敗を恐れずチャレンジするように仕向ける」
- 「自分のよさを理解し、相手のよさを認めさせる」
- 「自分を見つめ、自分の存在を理解し、考えた行動がとれる」

(4) 体

- 「めあてを持って運動できる子を育てる」
- 「楽しみながら運動ができる機会と場の設定をする」
- 「自分に打ち勝つ（困難に立ち向かえる）子を育てる」
- 「基礎的な体力づくり・基本的な運動能力の育成を図る」
- 「食育の充実と保健の学習との連携を図る」

(5) 体験・経験の実践

- 「子どもにとってよいと思える教育活動を実施する」
- 「将来に夢や希望が持てる教育活動（キャリア教育）を実施する」
- {外部講師・出前授業・体験教室の積極的な活用を図る}

(6) 学校・家庭。地域の連携・協力

- 「読書活動の充実と親子読書の日の確実な実践」
- 「地域の組織等を巻き込んだ教育活動を行う」
- 「PTA活動と学校の教育活動がコラボした実践する」
- 「保護者と教師が共に学ぶ親業の推進する」（放任主義の過保護の保護者の意識改革）